

令和5年度 市民税・県民税について

1. 税額の計算

市民税・県民税には、所得割と均等割があります。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{所得割額} \\ \hline \text{(市民税+県民税)} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{均等割額} \\ \hline \text{(市民税+県民税)} \\ \hline \end{array} = \text{年税額}$$

● 所得割の算出方法 ●

前年中の総所得 - 所得控除額 = 課税される所得金額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{課税される} \\ \hline \text{所得金額} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{税率} \\ \hline 6\% \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{調整} \\ \hline \text{控除額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{税額} \\ \hline \text{控除} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{市民税} \\ \hline \text{所得割額} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{課税される} \\ \hline \text{所得金額} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{税率} \\ \hline 4\% \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{調整} \\ \hline \text{控除額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{税額} \\ \hline \text{控除} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{県民税} \\ \hline \text{所得割額} \\ \hline \end{array}$$

● 均等割 ●

一定以上の所得のある方に対し、課税される一律の税額です。

市民税 3,500円 県民税 2,500円

※平成26年度から「地方税の臨時特例に関する法律」による防災施策のための引き上げおよび「みえ森と緑の県民税」の創設による県民税の引き上げにより、市・県民税均等割額が6,000円になりました。

2. 所得割の税率

| | | |
|---------------|-----|-----|
| 課税される 所得金額 | 市民税 | 県民税 |
| | 税率 | 税率 |
| 一律 | 6% | 4% |

3. 所得控除

| 種類 | 控除額 | | | |
|---|--|-------------------------|-----------------|-----------------|
| 雑損控除 | いずれか多い方の金額 ・損失の金額-保険金等で補てんされる金額-(総所得金額等の合計額×10%) ・災害関連支出の金額-保険金等で補てんされる金額-5万円 | | | |
| 医療費控除 | 支払った医療費-保険金等で補てんされる金額-(10万円と総所得金額等の5%のいずれか少ない方の金額) ※ただし、限度額は200万円 支払った特定一般用医薬品等購入費の額-保険金等で補てんされる金額-1万2千円 ※ただし、限度額は8万8千円 | | | |
| 社会保険料控除 | 支払った金額 | 小規模企業共済等掛金控除 | 支払った金額 | |
| 生命保険料控除 | (旧)生命保険料 | | (新)生命保険料 | |
| | 支払額 (A) | 控除額 | 支払額 (B) | 控除額 |
| | 15,000円以下 | 全額 | 12,000円以下 | 全額 |
| | 15,001~40,000円 | (A)×1/2+7,500円 | 12,001~32,000円 | (B)×1/2+6,000円 |
| | 40,001~70,000円 | (A)×1/4+17,500円 | 32,001~56,000円 | (B)×1/4+14,000円 |
| | 70,001円以上 | 35,000円 | 56,001円以上 | 28,000円 |
| 一般の生命保険料と介護医療保険料と個人年金保険料、それぞれの控除額を計算し、合計します。 ※上限70,000円 ※新旧両方の保険料がある場合は、両方の合計額となります(上限28,000円)。 | | | | |
| 地震保険料控除 | 旧 長期 損害 保険料 | 支払った金額 | 地震保険料控除額 | |
| | | 5,000円以下 | 全額 | |
| | | 5,001円~15,000円 | 支払金額の1/2+2,500円 | |
| | 15,001円以上 | 一律10,000円 | | |
| 地震 保険料 | 支払金額 | 支払金額の1/2 (上限25,000円) | | |
| | 旧長期損害保険料控除・地震保険料控除の両方がある場合は両方の合計額 ※ただし、限度額は25,000円 | | | |

| | | |
|--------|---|---------------------|
| 障害者控除 | 普通障害者 | 260,000 円 |
| | 特別障害者 | 300,000 円 |
| | 同居特別障害者 | 530,000 円 |
| 寡婦控除 | 260,000 円 | ひとり親控除 300,000 円 |
| 勤労学生控除 | 前年の所得金額が 75 万円以下の人 260,000 円 | |
| 扶養控除 | 一般 16 歳以上 (平成 19 年 1 月 1 日以前生) で下記以外の人 | 330,000 円 |
| | 特定 19 歳以上 23 歳未満 (平成 12 年 1 月 2 日～平成 16 年 1 月 1 日生) | 450,000 円 |
| | 老人 70 歳以上 | 380,000 円 |
| | 同居老親等 70 歳以上 (昭和 28 年 1 月 1 日以前生) | 450,000 円 |
| | 年少 16 歳未満の人 (平成 19 年 1 月 2 日以降生) | 控除額なし |
| 基礎控除 | 合計所得金額 | 基礎控除額 |
| | 2,400 万円以下 | 430,000 円 |
| | 2,400 万円超 2,450 万円以下 | 290,000 円 |
| | 2,450 万円超 2,500 万円以下 | 150,000 円 |
| | 2,500 万円超 | 適用なし |

※配偶者控除の適用がない同一生計配偶者や、扶養控除の適用がない 16 歳未満の扶養親族であっても障害者控除を受けられます。

◎令和 3 年度から所得金額調整控除の創設、基礎控除、未婚のひとり親への対応及び寡婦控除等が見直しされました。詳しくは、国税庁ホームページ等をご覧ください。
<https://www.nta.go.jp/>

●配偶者控除および配偶者特別控除●

| | | | | | | | | |
|----------------------------|------------------|-------------------|------------------|--------------------|-----------|-------|-------|-------|
| 納税義務者の合計所得金額 配偶者の合計所得金額 | | 900 万円以下 | 900 万円超 950 万円以下 | 950 万円超 1,000 万円以下 | 1,000 万円超 | | | |
| | | 控除適用なし | | | | | | |
| 配偶者控除 | 48 万円以下 | | | | | 33 万円 | 22 万円 | 11 万円 |
| | [老人控除対象配偶者] | | | | | 38 万円 | 26 万円 | 13 万円 |
| 配偶者特別控除 | 48 万円超 100 万円以下 | | | | | 33 万円 | 22 万円 | 11 万円 |
| | 100 万円超 105 万円以下 | | | | | 31 万円 | 21 万円 | |
| | 105 万円超 110 万円以下 | | | | | 26 万円 | 18 万円 | 9 万円 |
| | 110 万円超 115 万円以下 | | | | | 21 万円 | 14 万円 | 7 万円 |
| | 115 万円超 120 万円以下 | | | | | 16 万円 | 11 万円 | 6 万円 |
| | 120 万円超 125 万円以下 | | | | | 11 万円 | 8 万円 | 4 万円 |
| | 125 万円超 130 万円以下 | | | | | 6 万円 | 4 万円 | 2 万円 |
| | 130 万円超 133 万円以下 | 3 万円 | 2 万円 | 1 万円 | | | | |
| | 133 万円超 | 配偶者控除・配偶者特別控除適用なし | | | | | | |

4. 配当割控除額または、株式等譲渡所得割控除額

| | | |
|------------------|-------|-------|
| | 市民税 | 県民税 |
| 配当割額または株式等譲渡所得割額 | 3 / 5 | 2 / 5 |

5. 税額控除

| 種類 | | 1,000万円以下の部分 | | 1,000万円超の部分 | |
|---------|---|--------------|------|-------------|-------|
| | | 市民税 | 県民税 | 市民税 | 県民税 |
| 利益の配当 | | 1.6% | 1.2% | 0.8% | 0.6% |
| 証券投資信託等 | 外貨建等証券投資信託以外 | 0.8% | 0.6% | 0.4% | 0.3% |
| | 外貨建等証券投資信託 | 0.4% | 0.3% | 0.2% | 0.15% |
| 寄附金 | 寄附金の合計額〔総所得金額等の30%を上限〕－2,000円 控除率は、道府県民税について4%、市町村民税について6%とし、都道府県が条例により指定した寄附金については、道府県民税から、市区町村が条例により指定した寄附金については、市町村民税からそれぞれ控除します。 | | | | |

6. 課税されない人

令和5年1月1日現在、次に該当する方は所得割も均等割も課税されません。

- ①前年中に所得を有しなかった方
- ②生活保護法の規定による生活扶助を受けている方
- ③障害者・寡婦またはひとり親・未成年者（※）で、前年中（令和4年中）の合計所得金額が135万円以下の方
- ④令和5年1月1日以前に死亡された方 等

※未成年者とは18歳未満の方（平成17年1月3日以降生まれの方）

7. 均等割・所得割が課税されない人

均等割額・所得割額の非課税基準は次のとおりです。

| | 扶養あり | 扶養なし |
|------|----------------------------------|------------------|
| 均等割額 | (扶養親族+1)×28万円+10万円 +16万8千円≧所得 | 28万円+10万円 ≧所得 |
| 所得割額 | (扶養親族+1)×35万円+10万円 +32万円≧所得 | 35万円+10万円 ≧所得 |

特別徴収に係る給与所得者の異動届出書について

- 退職・休職・転勤・死亡等により納税者に異動があった場合は、異動した月の翌月10日までに必ず提出してください。
- 異動があった場合は、異動があった日の属する月の月割額まで徴収してください。
- 令和6年1月1日以降の退職・休職があった場合は、本人の希望に関係なく一括徴収をしてください。
- 特別徴収義務者指定番号は必ず記入してください。
- この届出が遅れますと市の事務処理が遅れるばかりでなく、貴事業所の滞納として督促状の発送を行う場合がありますので提出期限は、厳守してください。
- この異動届出書を提出したにもかかわらず税額の変更通知が送付されてこない場合は、課税課市民税係までご連絡ください。
- eLTAX（地方税ポータルサービス）を利用して、以下の書類の提出ができます。（P.2参照）
 - 給与支払報告・特別徴収に係る給与所得者異動届出書
 - 特別徴収への切替依頼書 ○特別徴収義務者所在地・名称変更届出書
 - 給与支払報告書（総括表・個人別明細書） 等

※異動届出書が不足したときは、コピーしてお使いください。

志摩市ホームページからもダウンロードできます。

<https://www.city.shima.mie.jp/>